

船舶事故等調査報告書

平成25年12月19日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第115号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成25年6月11日 16時30分ごろ
発生場所	福山港 広島県福山市所在のJFEスチール福山港新涯導灯（前灯）から真方位015°900m付近 （概位 北緯34°28.0′ 東経133°24.6′）
事故等調査の経過	平成25年7月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 裕紀丸、617トン
船舶番号、船舶所有者等	134963、株式会社榎本回漕店
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 右舷船尾部に凹損 岸壁 欠損
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首を東南東に向け、約2ノットの後進行きあしで福山港の一字岸壁に着岸作業中、船長が、風速約5m/s以下の風だったので、操船に影響はないものと思い、行きあしを落とさずに後進していたところ、平成25年6月11日16時30分ごろ右舷船尾部が岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、福山港の一字岸壁に着岸作業中、船長が、風速約5m/s以下の風だったので、操船に影響はないものと思い、行きあしを減じなかったことから、右舷船尾部が岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が福山港の一字岸壁に着岸作業中、船長が行きあしを減じなかったため、右舷船尾部が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・着岸する場合は、風波を考慮して十分に行きあしを落とすこと。